

西高秋の読書週間

「OWL」開催中！

読書の秋。西高秋の読書週間「OWL」（アウル）の期間中、読書や本に関連したいろいろな企画をしています。期間中はぜひ図書館へ足を運んでみてください。

① 図書委員のおすすめ本 紹介文&POP

イラストやキャッチコピーなどに工夫をこらして作成されたPOPは見応えたっぷりて目を奪われます！紹介文は、『鳥取西高図書館報』31号（12月に配布予定）に掲載予定です。



② 「黒板アート」 で本の紹介

「OWL」恒例の黒板アート。今年も力作がそろいました。レタリングに凝ったり、色やタッチで作品の雰囲気を表現したりなど、さまざま。見ればきっと、その本が読みたくなるはず！

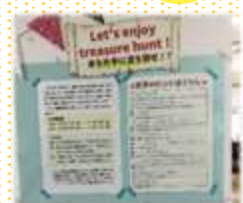


③ 企画「Let's enjoy treasure hunt!」

11/13(月)～
後半スタート!

本についてのヒントを手がかりに、館内に隠されている本を探し出す、図書委員企画・立案のイベント。見事探し当てた人には、素敵なプレゼントが！

問題（ヒント）の一覧は教室・図書館内入って左手の壁・図書館カウンターにあります。



鳥取西高校ビブリオバトル 2023

10月12日（木）に開催した校内ビブリオバトル。5人のバトル（発表者）達の熱い戦いが繰り広げられ、観戦者の投票の結果、チャンプ本は『沖晴くんの涙を殺して』額賀濤/著（双葉社）に決定しました。

この本を紹介した2年 奥山さんと、2年 宮川さんは、12月に開催される「全国高等学校ビブリオバトル2022鳥取県大会」へ学校代表として出場します。健闘をお祈りします！



取り上げられた本

『虚空教典』剣持刀也/著（KADOKAWA）
『プリズンホテル2 夏』浅田次郎/著
『沖晴くんの涙を殺して』額賀濤/著（双葉社）
『舟を編む』三浦しをん/著（光文社）
『ツナグ』辻村深月/著（KADOKAWA）

國分功一郎氏 関連図書展示中！

11月22日(水)に開催される「著者と語る」講演会に関連して、講師の國分功一郎さんの著書や関連図書を展示中です。

講演テーマをより深く知るための本をそろえています。ぜひ、講演会の前後に手に取ってみてください。

Library Guide
で紹介している本
もあります！



刺し子のふきん 作品展示中！



1年生の皆さんが「家庭基礎」で製作した刺し子のふきんを展示中です。図柄を決める際は図書館も活用して、季節のモチーフあり、好きなキャラクターあり、細かい伝統模様ありと、楽しい作品たちができあがりしました。

※調理実習で(ふきんとして)使用するので、館内での展示はまもなく終了です。



美田 宏子 先生(国語科、3年1組担任) より

『井上靖短篇集』第三巻 井上靖／著(岩波書店、1999年)

この中に収められている『黙契』という一篇が、特に好きです。自助的な作品で、現在を起点とした客観的な語り口に見えながら、少年捷次(しょうじ)の目を通して彼自身の姿や心情がありありと感じられます。父との間に黙契のようなものを感じ取り、父の死後もそれを守ろうとする少年の心を描くことに中心があるようです。静かな情感を湛える小説世界。

この秋、平明ながら深みのある、こんな一冊を手にとってみてはいかがでしょうか。

館内で展示中です！

お知らせ

蔵書検索が校外からも利用できます！

便利になりました！



鳥取西高校図書館蔵書検索・県内高校図書館横断検索は、これまで校内のWi-Fiに接続された端末からしか利用できませんでしたが、校外からも(インターネットがつながるところからなら、どこからでも・どの端末からでも)利用できるようになりました。図書館校内サイトから、予約やリクエストも可能です。自宅での情報収集や、校外活動で活用してください！

※アドレスは、学年 Classroom で連絡済みです。わからない人は図書館まで！



新着図書ピックアップ



『あなたが誰かを殺した』

東野圭吾／著(講談社)

加賀恭一郎シリーズ最新作。別荘地で起きた事件の真相は!? 秋の夜長に謎解きをどうぞ。



『777 トリプルセブン』

伊坂幸太郎／著(KADOKAWA)

『マリアビートル』の続編、殺し屋シリーズ最新作。今度は巨大ホテルが舞台！



書影は、出版社の許諾を得て掲載しています



『東大卒がおしえる逆転おうち勉強法』

みおりん／著(KADOKAWA)

教科別の勉強法やモチベアップのメンタル術など、自宅学習に役立つ一冊。



『リサーチのはじめかた』

トーマス・Sメラニー他／著(筑摩書房)

自分の問いを見つけ、リサーチを深めていくには？探究学習に取り組むときにぜひ読んでほしい一冊。



『リカバリー・カバヒコ』

青山美智子／著(光文社)

「悪いところを治してくれる」という言い伝えのある公園の遊具「カバヒコ」をめぐる連作短編集。青山さんらしい読後感の良い作品です。